



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月12日

上場会社名 株式会社オロ 上場取引所 東  
 コード番号 3983 URL https://www.oro.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 篤  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 日野 靖久 (TEL) 03-5724-7001  
 コーポレート本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	3,723	15.2	1,008	15.6	1,030	17.9	694	18.4
2018年12月期第3四半期	3,232	22.5	872	55.1	874	60.0	586	67.2

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 674百万円( 17.0%) 2018年12月期第3四半期 576百万円( 62.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	41.82	—
2018年12月期第3四半期	35.33	—

※1. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に、ネット広告売上の一部(アドネットワーク運用売上、リスティング運用売上等)において売上原価に計上していたアドネットワーク運用会社に支払う費用及びリスティング費用等を売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。そのため、変更以前の数値につきましても、当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	7,149	5,943	83.1
2018年12月期	6,637	5,394	81.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 5,943百万円 2018年12月期 5,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2019年6月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割を考慮しない場合の2019年12月期(予想)期末配当金は15円00銭となります。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,115	14.6	1,308	11.4	1,325	11.8	907	8.8	54.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2019年6月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、2019年12月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を反映した期中平均株式数を基に算定を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)、除外 ー社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料6ページ「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(会計方針の変更等)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	16,600,000株	2018年12月期	16,600,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	331株	2018年12月期	132株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	16,599,763株	2018年12月期3Q	16,600,000株

(注)当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更等)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,953,642	5,073,194
受取手形及び売掛金	973,889	1,145,519
仕掛品	196,410	333,033
原材料及び貯蔵品	3,381	3,376
その他	95,011	85,859
貸倒引当金	△87	△651
流動資産合計	6,222,249	6,640,331
固定資産		
有形固定資産	107,679	151,539
無形固定資産		
のれん	54,150	45,600
その他	52,137	33,281
無形固定資産合計	106,288	78,881
投資その他の資産		
投資有価証券	28,703	18,817
繰延税金資産	101,316	162,534
その他	72,392	98,521
貸倒引当金	△915	△915
投資その他の資産合計	201,497	278,957
固定資産合計	415,465	509,378
資産合計	6,637,714	7,149,710

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234,290	241,025
未払法人税等	293,341	206,858
賞与引当金	50,751	142,906
受注損失引当金	122,168	206,161
その他	542,817	409,039
流動負債合計	1,243,369	1,205,991
負債合計	1,243,369	1,205,991
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,185,030	1,185,030
資本剰余金	1,095,030	1,095,030
利益剰余金	3,113,675	3,683,444
自己株式	△355	△942
株主資本合計	5,393,379	5,962,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,017	3,617
為替換算調整勘定	△2,052	△22,460
その他の包括利益累計額合計	965	△18,843
純資産合計	5,394,344	5,943,718
負債純資産合計	6,637,714	7,149,710

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,232,402	3,723,277
売上原価	1,454,444	1,599,989
売上総利益	1,777,958	2,123,288
販売費及び一般管理費	905,314	1,114,868
営業利益	872,644	1,008,420
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,222	6,763
為替差益	11,967	1,755
補助金収入	6,732	—
受取損害賠償金	—	13,522
その他	759	634
営業外収益合計	23,681	22,677
営業外費用		
上場関連費用	22,106	—
固定資産除却損	39	217
その他	67	21
営業外費用合計	22,213	239
経常利益	874,112	1,030,858
特別損失		
和解金	—	5,295
関係会社株式評価損	—	11,234
特別損失合計	—	16,529
税金等調整前四半期純利益	874,112	1,014,328
法人税、住民税及び事業税	330,023	381,507
法人税等調整額	△45,343	△61,447
法人税等合計	284,679	320,059
四半期純利益	589,432	694,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,927	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	586,505	694,268

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	589,432	694,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	786	599
為替換算調整勘定	△13,907	△20,408
その他の包括利益合計	△13,121	△19,808
四半期包括利益	576,311	674,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	573,396	674,459
非支配株主に係る四半期包括利益	2,915	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業的前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社 `o R o c o d e M O C` を連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更等）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内子会社は、定率法（ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物は定額法）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社及び国内子会社の減価償却方法を定額法に変更いたしました。

この変更は、当連結会計年度に財務報告高度化を目的とするプロジェクトを開始したことを契機に、当社グループ内の会計処理の統一を図る観点から、有形固定資産の使用実態を検討した結果、当社及び国内子会社で利用する有形固定資産は、耐用年数にわたり安定的に利用しており、費用を均等に計上することが当社及び国内子会社の経済的実態をより適切に反映できると判断したため、定額法を採用することにいたしました。

なお、この変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（売上高の会計処理の変更）

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に、ネット広告売上の一部（アドネットワーク運用売上、リスティング運用売上等）において売上原価に計上していたアドネットワーク運営会社に支払う費用及びリスティング費用等を、売上高から控除する方法（純額表示）に変更し、当該変更後の会計方針を遡及適用しております。

そのため、当連結会計年度に属する第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に含まれる比較情報に適用した会計方針と、前連結会計年度の対応する第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。



## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウドソリューション事業	デジタルトランスフォーメーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,716,034	1,516,368	3,232,402	—	3,232,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,716,034	1,516,368	3,232,402	—	3,232,402
セグメント利益(注)	663,214	209,429	872,644	—	872,644

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウドソリューション事業	デジタルトランスフォーメーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,109,519	1,613,758	3,723,277	—	3,723,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,109,519	1,613,758	3,723,277	—	3,723,277
セグメント利益(注)	972,962	35,458	1,008,420	—	1,008,420

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、テクノロジーとクリエイティブを軸にさまざまなデジタルソリューションを提供しておりますが、技術の進化や顧客ニーズの変化を適切に捉えサービス展開を行うにあたり、事業内容をより適切に表現するため、第1四半期連結会計期間より、「ビジネスソリューション事業」の名称を「クラウドソリューション事業」に、「コミュニケーションデザイン事業」の名称を「デジタルトランスフォーメーション事業」に変更しております。当該変更は名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称により作成したものを記載しております。

「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)」に記載のとおり、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に、ネット広告売上の一部(アドネットワーク運用売上、リスティング運用売上等)において売上原価に計上していたアドネットワーク運営会社に支払う費用及びリスティング費用等を、売上高から控除する方法(純額表示)に変更し、当該変更後の会計方針を遡及適用しております。

そのため、当連結会計年度に属する第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に含まれる比較情報に適用した会計方針と、前連結会計年度の対応する第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。